



破壊的AIのインパクトが社会のすみずみまで浸透してきています。我々は、AIテクノロジーの進化を捉え、ビジネスに組み入れ、新たな世界を切り開いていかななくてはなりません。AIの実践的研究動向や、不確実で複雑な社会を扱う超理論などの導入的チュートリアル講演に続き、参加者の方々との深い議論をしたいと思います。

13:00～      トラックの概要〔コンセプト〕と進め方などのオリエンテーション

テクノロジー（AIやIT）と社会（制度やビジネス）との関わりについての課題について皆さんと議論してみようと思います。つまり、（未解決の）仮説をいくつか掲げてみましょう。大げさに言えば、このトラックの目標は研究テーマの設定です。

13:10～      大槻繁

テクノロジーとそれを取り巻く産業・組織・社会の変化

～哲学・産業・思考・システム論・デザイン論・社会のパラダイムシフト～

13:50～      萩原正義

パラダイムシフトにどう対応するか

～AIの本質とは何かについて、実践的な観点から、多角的に分析～

〈軽い休憩〉

14:40～      ワークショップ

ITや社会システム、人材や組織戦略、倫理・道徳・哲学など参加者の方々の日頃の問題意識をぶつけてみましょう

16:40～      まとめ

## トラックコーディネータ紹介



大槻 繁(おおつき しげる) 株式会社一(いち) 代表取締役

ソフトウェア開発方法論の研究開発、ソフトウェアエンジニアリング、プロジェクト・マネジメントの教育を手がける。近年は、新しいパラダイム提唱、知識創造産業におけるアーキテクチャや仕組みを探求している。

アジャイルプロセス協議会フェロー、同知働化研究会運営リーダーなど。

著書に「ソフトウェア設計」(朝倉書店、共著)、「ソフトウェア開発はなぜ難しいのか」(技術評論社)、「ずっと受けたかったソフトウェア設計の授業」(翔泳社、共著)など多数。



萩原 正義(はぎわら まさよし) Exscale Inc., Founder, CTO

大手総合電機メーカー、コンピュータ企業を経て、マイクロソフト株式会社ソフトウェアアーキテクトとして長年勤める。ソフトウェアアーキテクチャ研究開発と技術啓蒙に従事。クラウドコンピューティング、サービス指向アーキテクチャ、分散システムなど開発方法論を担当。アバナード株式会社をへて、Exscale Inc.を創設。

東京大、東工大、早稲田大学、北海道大学などで非常勤講師、助教を務める。